

監査委員の決算審査意見

財政状況は更に厳しさを増す
具体的な歳入増加策を

監査委員 荒木昭雄
監査委員 下村 宏

平成25年7月30日、31日、
8月2日の3日間審査を行
いました。

《審査の結果と意見》

各会計の決算は適法、正
確に処理されており、計数
的にも正確で、内容も適正
なものと認めました。

① 財政の硬直化を招かない
よう、企業誘致等による中
長期的な地域経済活性化対
策も図りながら、雇用と安
定的財源の確保を図り、財
政の健全化に努めていただ
きたい。

② 滞納・不納欠損になる前
に、滞納者の実態の把握に
努め、早め早めの適正な対
応に努めるとともに、特別
滞納整理の回数が増加等納
税対策の更なる強化を図っ
ていただきたい。

③ 国民健康保険料の不納欠
損額及び収入未済額は、近
年顕著な増加傾向を示して
きた。国民健康保険財政の
健全化と保険料負担の公平
適正化を図るため、収入率
向上に向けた努力を望みた
い。

④ 農業集落排水事業特別会
計、公共下水道事業特別会
計とも起債残高が多く、債
権の償還と運営費の一部を
一般会計からの繰入金で
賄っている。分担金や使用
料に滞納や不納欠損が発生
しないよう、更なる運営改
善を図っていただきたい。

⑤ 高齢化が進む中、介護保
険特別会計の保険給付費や
後期高齢者医療特別会計の
広域連合への納付金が年々
増加している。高齢者の健
康意識の向上を図り、予防
対策を講じていただきたい。
⑥ 今後とも水道への加入促
進を図るとともに、増加傾
向の滞納金の徴収とあわせ
て経費削減に努めていただ
きたい。

決算審査特別委員会質疑

9月17日に開催した決算
審査特別委員会の質疑を一
部紹介します。

公害関連苦情処理は

山崎議員 公害関連苦情処
理委託料とあるが、どのよ
うな処理を行ったのか。
生活環境課長 スズメバチ
の駆除を行った。

石川議員 公共施設の処理
なのか、一般家庭の処理な
のか。
生活環境課長 通学路と公
共施設の処理を行った。

学校給食費の状況は

林議員 学校給食費の収入
未済額が、平成23年度と比
べ増加している。本年4月
より学校給食費条例が施行
されたが、保護者の意識に
変化はあったのか。

教育次長 本年度から各小

・中学校で学校給食申込書
を提出いただいたことで、
保護者の意識が変わり、平
成24年度と比べ学校給食費
が納入されるようになった。
ただし、学校給食申込書未
提出の方もいる。

林議員 未提出の方は、今
後どうするのか。
教育次長 学校に足を運び、
保護者の理解を得たい。

特別滞納整理の回数は

石川議員 特別滞納整理の
回数は現在2回だが、回数
はふやさないのか。

総務部長 回数をふやすこ
とは、時期をみて検討する。
村長 年度の変わり目、3
月を入れてもよい。

石川議員 3・6・9・12
月の年4回実施ではどうか。
毎月給料をもらっているの
で、ボーナス月の間3・9
月を入れて検討していただ
きたい。